

全国で話題の保険外リハビリ 京都府京都市にある「エール神経リハビリセンター伏見」

脳の後遺症を身体の内・外から改善！ 全く新しいリハビリの形を実現！

脳梗塞に代表される脳血管疾患やパーキンソン病など、リハビリを必要とする方が、退院後でも満足できるリハビリを受けられる場所は少ない。本施設では「自費」という新しい形で、理学療法士が身体内外からのアプローチを実施。在宅復帰後でも、マヒ等の後遺症を改善する新しい形を実現した。ここでは体験者の生の声を聴く。



information

男性／60代／
脳出血 左片麻痺

details

症状 左片麻痺
発症からの期間 1年

「（定期的なりハビリの後）実際に通ってみて、当施設のリハビリはいいか？」
経験のある二人の理学療法士にしっかりとリハビリをしてもらっている、ここに来ていこうことに安心してリハビリに取り組んでいる感じがす。そして二人の人柄も気に入っています。

「初めて来所された時は、どんなお悩みをお持ちだったんですか？」
左麻痺ということだと思うように自由が利かない、上肢でも下肢でも少しでも変化があったら波及効果があると思ったけど、本当に改善していくんだらうかという不安があった。

「発症の前はどんな生活をされてたんですか」

バリバリ仕事をしていて、海外に出張へいったりなどして過ごしていたかな。そして、海外で脳出血になって今はリハビリして杖と装具を使って歩いている状態。

「発症してからは、どの様なリハビリをしていたんですか」

発症が大体1年前で、病院を退院した後は、外来のリハビリに行ってできるだけ毎日運動をできるようにして運動量を確保するようにしました。

「病院にいたころは、どの様なリハビリでしたか」

海外で発症して海外と日本に戻ってきてリハビリをしました。理学・作業・言語と40分ずつリハビリをしたという感じ。病院の中でクラスターになったりもして、リハビリが一時止まってしまうなど思うようにリハビリの時間が過ぎせなかったかな。



「外来リハビリは、どの様なリハビリだったんですか」

上肢と下肢とでリハビリをしてもらっているんだけど、ストレッチが多くなったりどうしても時間内だけでやりたいことができないかなって思います。また、保険内の関係で通える回数や時間も変わってしまうので。

「保険内と当施設で違いは感じますか」

病院のリハビリとかで考えると、型にはまってしまったような流れ作業のようなリハビリとなっている感じがしてるかな。他の違いとしては、やっぱり同じ療法士が定期的に見てくれるという安心感もあるし、「もっとこういうリハビリがしたい」や「ここを見てほしい」ことを相談しやすいです。実際にそれで独歩の練習がしっかりでき、室内で自信をもって歩けるようになった！

エールリハビリ通信



ーいま感じている、この施設で1番の価値を教えてください

楽しいセラピスト二人で毎回楽しくリハビリができています。また、楽しいだけなく、体のことをしっかりと教えてくれるのがいいと思います。しっかりとやるべきことを把握してリハビリをしていくのがいいと思います。安心してリハビリに取り組みます。やはり、手や足がこのまま動かないんだらうか？と毎日考えて落ち込んで来ると楽しくないので、しかし、工場の諦めなしでリハビリを取り組んで、このリハビリで屋外歩行が2kmも歩けるようになりました。

施設の場所はこちら



ーどのような人に、この施設のことを知ってほしいですか

やはり、絶対良くなってやろうと
いった意思があつて、もっとリハ
ビリがしたい！もっと良くなりた
いと思う人にもっとこの施設が知
れ渡るといいなと思います。

ーインタビューは以上になります。
本日はありがとうございました！



エール神経リハビリセンター 伏見

☎075-644-1414 またはヘミング伏見フロントまで!

受付時間 10:00~18:00 [日・祝 定休]

住 京都市伏見区深草綿森町9
所 フィットネス&スパヘミング伏見内



HPはこちらから